

# 令和2年度 西多摩地域保健医療協議会 会議録

## 1 開催方法 書面開催

※令和2年8月25日（火曜日）に委員宛資料を送付し、意見書の提出をもって出席とした。

## 2 西多摩地域保健医療協議会委員

氏名	役職名	備考
玉木 一弘	一般社団法人西多摩医師会会長	
江本 浩	一般社団法人西多摩医師会副会長	
進藤 幸雄	一般社団法人西多摩医師会副会長	
加藤 裕正	一般社団法人東京都西多摩歯科医師会会長	
田中 三広	一般社団法人西多摩薬剤師会会長	
大友 建一郎	青梅市立総合病院院長	
松山 健	公立福生病院院長	
荒川 泰行	公立阿伎留医療センター院長	
室 愛子	医療法人財団岩尾会東京海道病院院長	
渡辺 三郎	公募委員	
秋間 利郎	公募委員	
小山 洋一	公募委員	
並木 茂	西多摩食品衛生協会会長	
押切 孝藏	にしたま環境衛生協会会長	
柴田 昌志	青梅労働基準監督署長	
栗原 枝利子	東京訪問看護ステーション協議会第8ブロック会長 (指定訪問看護ステーションあきる台ケアサービス所長)	
石川 明男	西多摩保健所特定給食協議会会長 (特別養護老人ホーム第二紫水園施設長)	
島田 美喜	社会福祉法人至誠学舎立川 至誠児童福祉研究所副所長	
松月 弘恵	日本女子大学家政学部食物学科教授	
倉田 克治	社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会会長	
古山 博大	西多摩郡民生児童委員協議会会長	
浅見 加代子	精神障害者家族会FHMの会代表	
富田 清	青梅市立吹上小学校長	
川杉 稔	あきる野市立東中学校長	
桑嶋 康雄	警視庁青梅警察署長	
古賀 崇司	東京消防庁青梅消防署長	
齋藤 剛一	青梅市健康福祉部長	
瀬谷 次子	福生市福祉保健部参事	
粕谷 昇司	羽村市福祉健康部長	

川久保 明	あきる野市健康福祉部長	
福島 由子	瑞穂町福祉部長	
佐伯 秀人	日の出町いきいき健康課長	
大谷 末美	檜原村福祉けんこう課長	
菊池 良	奥多摩町福祉保健課長	
播磨 あかね	西多摩保健所長	
合 計 3 5 名		

(敬称略)

### 3 欠席委員

なし

### 4 代理出席者

羽村市福祉健康部 大高健康課長（粕谷委員代理）

### 5 議 事

- (1) 地域保健医療推進プランの進捗状況及び令和元年度各部会報告について
- (2) 地域保健医療推進プランの中間評価について

### 6 報告事項

- (1) 令和2年度課題別地域保健医療推進プランについて
- (2) その他

### 7 意見のとりまとめについて

意見書は、「事務局に一任」又は意見を記載していただく形式としており、全ての委員の方から意見書を提出いただき、議決事項は承認された。

(とりまとめ結果は別紙のとおり)

別紙 令和2年度西多摩地域保健医療協議会 意見とりまとめ

提出委員	意見	事務局回答
<p><b>【議事（1）】地域保健医療推進プランの進捗状況及び令和元年度各部会報告について</b></p>		
<p>荒川委員</p>	<p>がん検診の第一の目標は受診率の向上を図ってがん対策基本法の掲げる数値目標を達成するための努力をすることは重要なことですが、加えて当該圏域において「早期診断の割合」なども分析してがんの死亡率減少効果にどれだけ寄与したかも評価をするべきであると思慮致します。</p>	<p>早期診断の割合については、令和元年度に実施した平成30年度分のがん検診精度管理評価事業から各市町村の実績を保健所が把握できるようになりました。しかし、精密検査結果については、実施機関や本人から市町村へ報告の仕組みが不十分なため、どの程度早期診断ができていないか判断ができない状況です。東京都では都内どこの医療機関で精密検査を受けても結果が区市町村へ報告されるための統一様式の作成、周知を行っています。西多摩圏域においても活用促進に向けて市町村と保健所が情報を共有し、がん検診の向上を図ってまいります。</p>
<p>川杉委員</p>	<p>項目1-1-2がん対策について西多摩圏域受診率の平成27年度と平成28年度の調査結果において、上がったものと下がったものがある。また、都受診率との比較においても同様である。そこで、受診率を上下させた要因を探り、何が効果的であったのかを突き止め、今後の広報活動の歩留まりを高めるようにしたらいかがかと考える。</p>	<p>保健所では、毎年、管内のがん対策に関する調査を実施し、8市町村・保健所連絡会等で共有を図っています。また、受診率の増減の要因の分析については、昨年11～12月に管内市町村健康主管課にがん検診の種類別に過去6年分のデータについて調査を行い、結果を令和2年1月に開催した8市町村・保健所連絡会で共有しました。受診率増加の要因は、各市町村において複数の健診を同時にできるようにしたり、申込方法を複数の手段で行えるようにしたり、受診者にポイントを付与する制度を導入するなどの工夫をしたためでした。保健所では、引き続き圏域のがん対策事業の推進が図られるよう、市町村と連携しながら努めてまいります。</p>
<p>事務局 まとめ</p>	<p>いただいた御意見については、今後の進行管理において参考とさせていただきます。</p>	
<p><b>【議事（2）】地域保健医療推進プランの中間評価について</b></p>		
<p>島田委員</p>	<p>今年度はコロナの影響で、講習会の開催などを指標としている項目は減少とすることが見込まれる。中間年ではあるが参考値として、前年あるいは次年度の数値を踏まえた評価としてはいかがか。</p>	<p>中間評価に当たっては、新型コロナウイルスの影響も加味しながら、評価方法を含めて検討し、実施してまいります。</p>
<p>事務局 まとめ</p>	<p>いただいた御意見を参考にしながら、中間評価を実施してまいります。</p>	
<p><b>【その他全体を通して等】</b></p>		
<p>玉木委員</p>	<p>がん・特定健診受診率、予防接種率が都区部より低い課題について。市町村毎に人員や予算の制約があることは重々承知の上ですが、健診期間の通年化や予防接種の一体化（8市町村の）一元化が少しずつでも進められればと考えます。</p>	<p>特定健診の実施率、胃がん・大腸がん・乳がん検診の受診率については、東京都より高い数値となっておりますが、肺がん・子宮頸がん検診については、東京都より低い数値となっております。また、予防接種率は、東京都より高いものが多いものの、麻しん・風しんの第2期や日本脳炎の第2期は東京都より低くなっています。保健所では8市町村・保健所連絡会や担当者会における情報交換等を通じて、各種事業の推進を図ってまいります。</p>

提出委員	意見	事務局回答
大友委員	ごくろうさまでした。	ありがとうございます。
松山委員	例年のような進行でよいと考えています。	今後ともよろしく願いいたします。
荒川委員	今回のコロナ禍の中で、当該圏域でも高齢者施設が多いため新型コロナウイルス感染が集団発生した場合にはパニック状態になるリスクが懸念されます。そこで、地域や施設の感染制御について、平素からの関係職員の教育・研修が重要であります。つきまして、地域医師会等と協力して医療・介護・保健等に係わる多施設職員の教育・研修を目的とした「西多摩アカデミー」を設立して人材の教育と育成を図ることを提案します。	保健所では、9月11日に介護事業者向けの研修会をWEB会議方式で開催するとともに、研修の内容をまとめたメールマガジンを10月初旬に発行し、市町村高齢主管課を通して管内の介護事業所等への周知を行いました。また、西多摩新型インフルエンザ等地域医療体制ブロック協議会に2つの部会を新たに設け、そのうちの社会福祉・地域医療部会で高齢者施設が多い地域特性を踏まえた取組の1つとして、地域の関係機関が連携して感染予防の普及啓発や研修等を行っていくための検討をまいります。
渡辺委員	新型コロナウイルス感染症流行の現下におきましては、保健所におきましても大変な状況にあると存じます。感染症予防方法につきましてもマスク、手洗、お口のうがいと、手の平の接触部位の消毒行為等いろいろと報道されています。ウイルスと言う直視できない微粒子の活動も人々が想像外の見えない部分での感染拡大に至る事も有ると思います。個人的な意見ですが、一般の町道、市街地の下水に溜る泥土も雷雨によって、一時的な大雨によって、下水からあふれ出る汚水も歩道や車道をよごします。その生活域も歩くのは靴やぞうりです。靴の裏側も公衆トイレ、公園、歩道等一般道の市街地を歩くものです。靴は帰宅後にゲンカン、下駄箱に並べますが、靴の裏側もシューと一吹スプレーすると予防の一件ではないかと存じます。	新型コロナウイルス感染症の予防には、3密を回避するとともに、標準予防策と呼ばれる手洗い、マスクの着用、手指消毒等が重要とされています。西多摩保健所では引き続き普及啓発に努めてまいります。
秋間委員	新型コロナウイルスの感染が、まだ先の見通すことができない中、保健所の業務に精励されているみなさんに感謝申し上げます。感染防止、生命第一に勘案すれば自粛要請はもう少し強制力をもたせても良いのではないかと。	ありがとうございます。感染対策のための私権の制限は、新型インフルエンザ等特別措置法で定められており、保健所は法令に沿って対応しております。
小山委員	コロナで大変ですけど、がんばって下さい！	ありがとうございます。
浅見委員	FHMの会（注）では、地域活動支援センター、作業所につながっていない当事者が約半数います。この方々にアウトリーチ支援をお願い出来れば、どんなにありがたいかと思っています。	精神疾患患者様の生活支援については、医療機関や市町村、関係機関等が連携しながら、個々の状況によりアウトリーチ支援などにも取り組んでいるところです。今後、ネットワーク会議等を通し、課題共有と対策の検討を更に重ねてまいります。

提出委員	意見	事務局回答
川杉委員	<p>意見ではなく、自殺対策に関する質問になります。中学校においては、特に長期休業明けを念頭に、生徒の自殺予防の取組を行っているところです。職員に資料を提供しておりますが、『平成27年度自殺対策白書（内閣府作成）』から抜粋したデータを基にした物です。新しいデータに基づいた資料を入手方法があるでしょうか。</p>	<p>自殺対策に関する資料としては、下記ホームページ等から入手することができます。</p> <p>① 「SOSの出し方に関する教育」を推進するための指導資料について(東京都教育委員会)  <a href="https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/sos_sing.html">https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/sos_sing.html</a></p> <p>② 自殺対策(厚生労働省)  <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougai Shahukushi/jisatsu/">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougai Shahukushi/jisatsu/</a></p> <p>③ 報告/資料(自殺総合対策推進センター)  <a href="https://jssc.ncnp.go.jp/information.php">https://jssc.ncnp.go.jp/information.php</a></p>
齋藤委員	<p>いつもお世話になっております。また、コロナ対応については、いろいろと御指導、御助言をいただき、感謝申し上げます。今後ともよろしく願いたします。</p>	<p>ありがとうございます。</p>

(注) FHMの会：福生市、羽村市及び瑞穂町の精神障害者家族会